

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会

第100回 7月28日(土) 13:30～ くらしの植物苑

100回記念 参加者先着200名様に記念絵葉書1枚プレゼント

「市民のためのくらしの植物苑」 辻誠一郎 (東京大学大学院)

第101回 8月25日(土) 10:00～ くらしの植物苑

「変化朝顔の世界」 仁田坂英二 (九州大学大学院)

今週の見どころ 毎週木曜更新 <http://www.rekihaku.ac.jp>



季節の伝統植物—江戸を咲かす—

伝統の朝顔

7月24日(火)は、内覧会(参加自由)に350名近いかたのご参加をいただき、朝顔展がオープンいたしました。今年は天候が不順なため朝顔の成長が遅く、花がたくさん咲いてはいませんが、今回のテーマの朝顔の色、朝顔の模様のパネルも九州大学の仁田坂先生のご協力のお陰で何とかできました。



開苑前



館長挨拶



伝統の朝顔期間中、午前中は展示の説明をしています。



今見ることできる黄色の花

オグルマ (キク科オグルマ属)

日本各地に生える多年草です。湿ったところを好み、地下茎でふえます。花は中心に筒状花、最近では園芸品種で八重になっている、ヤエオグルマがあります。ここ歴史博のある佐倉市には、サクラオグルマといわれるオグルマの変種があったそうですが、残念ながらみたことはありません。



ヘチマ (ウリ科ヘチマ属)

熱帯アジア原産の1年草で、葉の表面がざらつきます。花は黄色の両性花で、巻きひげを出し他のものに巻きつきます。果実は30cmから100cmで、外面には浅い溝ができます。成熟すると果皮の繊維が発達してスポンジ状になります。苑には十角ヘチマ、太ヘチマなどいくつかの品種が植えてあります。



シカクマメ (マメ科シカクマメ属)

地下に塊根をつくるつる性の草本です。若い豆果は肉質で野菜として利用されています。原産地ははっきりしていませんが、アジア一帯で栽培されています。インドネシアでは、できもの、結膜炎などの薬用に使われます。暖かい地方のものなので栽培がうまくいくか心配です。



モモルディカメロン (ウリ科キュウリ属)

苑ではことしも懐かしいメロンを栽培しています。写真はモモルディカメロン、別名ばばごろしなどと言われます。八丈島や長崎の福江島で栽培されていたのであまりなじみはありません、粉質で水分があまりないメロンです。特殊な遺跡で出土例があります。

(詳しくは「海を渡った華花」の図録を参照ください)



くらしの植物苑マップ

